

【報道発表資料】



国立大学法人 東京大学
東大グリーンICTプロジェクト

東大グリーン ICT プロジェクト、IEEE1888 ソフトウェア開発キットを公開 — グリーン ICT 事業の開発を促進 —

国立大学法人東京大学（総長：濱田 純一、以下、東京大学）の東大グリーン ICT プロジェクト(*1)（代表：江崎 浩、以下、GUTP）は、7 日からホームページ(<http://gutp.jp/>)にて、IEEE1888 ソフトウェア開発キット(以下、SDK)の公開に踏み切ります。

IEEE1888 は、インターネットを活用した電力やビル設備等の遠隔監視制御を可能にする、次世代型の通信規格で、広域エネルギー管理事業(スマートグリッドなどのグリーン ICT 事業)で、利用されてきております(*2)。これまでは、規格仕様書や GUTP が開発した参照ソフトウェアなどを基に、IEEE1888 機器の開発が各社で行われておりましたが、このたび、そのソフトウェア開発に必要なセットを SDK として一般に公開することになりました。

SDK は、環境設定が整った仮想マシンイメージとして配布され、GUTP の Web からダウンロードできるようになります。同梱されているセットアップ・マニュアルや、プログラミング・マニュアルなどを参照することで、自ら機器の開発を進めることが可能になっています(図 1、2)。

IEEE1888 機器の開発に、本 SDK を利用すると、独自に仕様書のみから開発を進める場合と比べ、開発速度を向上させることができます。また、常に接続性を検証しながら開発を進められるため、規格への準拠性が高い機器に仕上がります。

SDK は、9 月初頭から GUTP および IEEE1888 関係者間で共有されておりました。これまでに東京と北京にて、技術者向け講習会が盛況に開催されております。次回講習会は、一般の技術者向けに、10 月下旬から 11 月中旬の間での開催を予定しています。

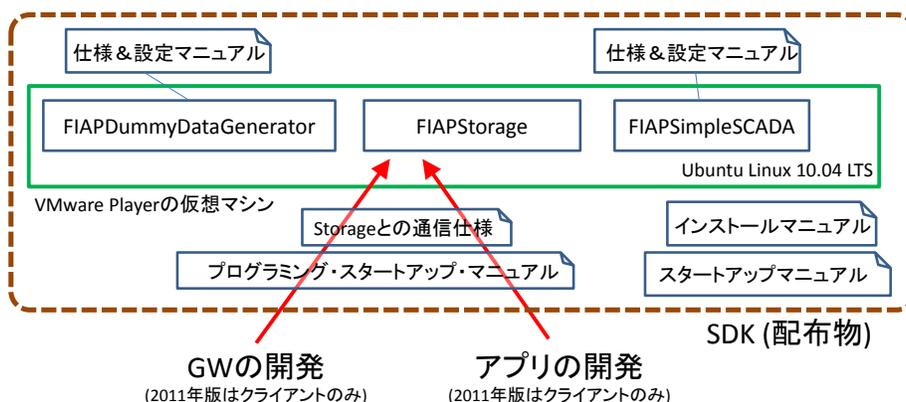


図 1: SDK の構成図 : 「仮想マシン+ドキュメント」の形態で配布される

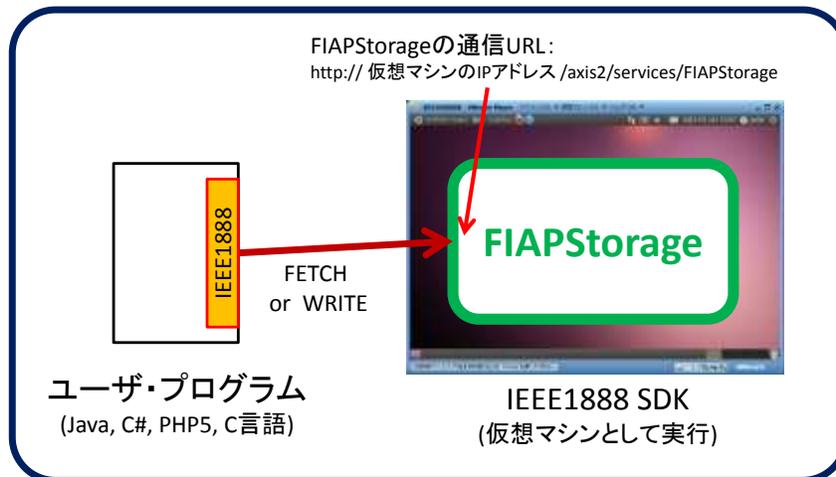


図 2: SDK を利用して IEEE1888 機器やソフトウェアを開発する

(*1) 東大グリーン ICT プロジェクト (代表: 江崎浩, <http://www.gutp.jp/>)

国立大学法人東京大学 (総長: 濱田 純一、以下東京大学) が、2008 年 6 月 9 日に大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授を代表として、IPv6 普及・高度化推進協議会と協力して発足させたグリーン東大工学部プロジェクトを、2010 年 4 月 1 日に全学の活動として再組織した。東京大学本郷地区の工学部新 2 号館 (2005 年竣工 地上 12 階 総合研究教育棟) をモデル的な舞台として、個別に運用管理されていた施設の設備制御管理システムを相互接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、IT による省エネと IT 環境自体の省エネの両立を実証する。設立発起人 (詳細は、「発起人・組織リスト: <http://www.gutp.jp/members/>) を中心に、技術規格標準化関連団体、建設会社、建設設計事務所、ハードウェア・ソフトウェアベンダー、インテグレーター、通信事業者などファシリティーの企画・設計・構築・運用に関連する関連組織からの参加の下、データ取得方法・表現形式などの標準化やファシリティーの運用管理効率の向上などをはじめとして、省エネ実現のモデルケース確立などに取り組んでいる。

(*2) 東大グリーン ICT プロジェクト(GUTP)の活動の概要「スマートグリッド向け新プロトコル: IEEE1888」

<http://r.impressrd.jp/iil/GUTP2011>

<本件に関するお問い合わせ先>

東大グリーンICTプロジェクト発起人代表

(旧名: グリーン東大工学部プロジェクト発起人代表)

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

Tel: : 03-5841-7465 Fax : 03-5841-7465

E-mail: hiroshi@wide.ad.jp

東大グリーンICTプロジェクト事務局

(旧名: グリーン東大工学部プロジェクト事務局)

〒101-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

株式会社三菱総合研究所

担当: 中村 秀治・吉田 薫・橋田理恵

TEL : 03-6705-6016 FAX : 03-5157-2195

E-mail : gutp-info@gutp.jp